

日本語が大好きになるトークショー



河崎早春 & ケーシー万奈



あなたの知らない 日本語の世界

日本語の武器は「音色」と「調べ」と「間」。
ところが現代人はそれを忘れちゃった。
聞けば耳から鱗なのに、文章じゃ伝わらない。
そこで実際に感じてみましょう！ 早春

アイルランド人の夫を持ち、外国で日本語を教え
家と外で日々、日本語と悪戦苦闘して〇〇年。
日本では想像できない、抱腹絶倒の勘違い！！
つくづく感じた日本語の面白さ。 万奈

2025

7月14日(月)

「おばーさん」と「おばさん」
外国人には同じに聞こえる
「ちがうぞ〜！」

開演 14時・18時半
(開場 30分前)

原宿
カーサ・モーツァルト

入場料 3000円

テレパシーで言葉を読み取り
間合を癒せる民族！

外国で日本語が注目された
ふしぎな日本文化と日本語
イメージを呼び起こす言葉

日本語のとおきおきの武器
「あいまい」

なんで日本語には
ジェスチャーが少ないの？
なんで日本で
絵文字が生まれたの？

若い頃に仕事で出会ったふたりが 時を経て
日本語への思いをお喋りしていたら、アラアラ面白くて止まらなくなった。
こんなとおきの話、みんなに聞かせてあげたい！

河崎早春 Saharu Kawasaki

俳優、朗読家。青山学院初等部～同大学日本文学科卒業。

ギィ・フォワシ短編劇コンクールで最優秀賞受賞。小舞台を中心に活動。20代の頃に朗読を故巖金四郎、故臼井正明に師事した後、ジャンルや枠にとらわれない独自の朗読の活動を初め46年。

NPO 日本朗読文化協会講師。

多くのTV番組やイベントの、インタビュアー、キャスター、司会者も務めてきた。

著書「おしゃべりなスーツケース」(PHP 研究所)「感動のしかた」(明日香出版社)他。



Photo : Mayumi Karasawa

ケーシー万奈 Casey Mana Kato

早稲田大学大学院日本語教育学修士。イギリス ウェストミンスター大学大学院メディア・マネジメント修士。

青山学院中等部～同大学法学部卒業。衛星放送の医療系アナウンサーとして活動後、フリーとなる。結婚後、

フランス、イギリス、香港と移住し、現在はシンガポール在住。海外歴17年。

元香港大学專業進修学院日本語講師。

現在は、シンガポール国立大学 日本語教師。論語塾も運営。

著書「My Little Journey in H.K 我的香港小旅行」(中和出版)



7月14日(月) 昼の部 14時00分 夜の部 18時30分 開場は、開演の30分前です

ご予約、お問い合わせ

kotoba@saharu-k.com

チケット(時間指定 自由席) 3000 円

お名前、ご住所、お電話番号をお知らせください。

数日中に返信のない場合はお手数ですが、念の為に再度ご連絡をお願いいたします。

Casa Mozart カーサ・モーツァルト 03-3402-1756 渋谷区神宮前 1-10-23 3F

